

- 未来につなぐ創造力プロジェクト 他 1
SDGsについて、ひのつ子がんばってます 2
障害のあるなしにかかわらず誰にとってもやさしいまちへ 他 3
日野まなびあいプランについて 他 4

未来につなぐ創造力プロジェクト

「未来につなぐ創造力プロジェクト」は、平成26年度から宮城県気仙沼市を訪問しています。気仙沼市では、東日本大震災を経験し地域の復興のために尽力されている方や気仙沼市立中学校の生徒と交流します。訪問した生徒たちは、震災について学び、未来の日野市について考え始めます。

今年度は、日野市立中学校から17名の生徒が参加しましたが、新型コロナウイルス感染症のため、気仙沼市とオンラインでの交流を行いました。生徒たちは気仙沼市との交流をきっかけとして、みんなが幸せに生きていける社会について考え、持続可能な社会の創り手として主体的に活動する力を育んでいます。



TRANSFORMING OUR WORLD
SDGs IN ACTION HINO

～参加した中学生からのメッセージ～

今年は新型コロナウイルスの影響で、気仙沼市への訪問はできませんでした。そのため、市内の活動のみとなってしまいましたが、SDGsの目標を達成するために今私たち中学生にできることを考えました。

プロジェクトのメンバーで話し合い、「目標1の貧困をなくそう」「目標3のすべての人に健康と福祉を」「目標5のジェンダー平等を実現しよう」の3つの目標を達成するためにできることを考えました。

「目標1の貧困をなくそう」のグループは「生活を支援してくれている人たち」に着目し、相談所や無料食堂について調べました。「目標3のすべての人に健康と福祉を」のグループは、多くの人にSDGsへの興味・関心をもってもらうため、ポスターを作成し、市内に掲示させてもらうという案を出しました。ポスターは、大人でも子供でも読めるように絵や文字の工夫をすることにしています。「目標5のジェンダー平等を実現しよう」のグループでは、男女で着る服の違いを減らすことを目標として、男女共用の服を作成するという提案をしました。作成した服を着て、活動する企画を考えています。



軽井沢風越学園視察研修を実施しました

令和3年11月29日・30日に、軽井沢風越学園視察研修を実施しました。対象は、日野市立幼稚園・小学校・中学校の教員及び教育委員会事務局職員です。日野市教育委員会と軽井沢風越学園は、学校教育の質向上及び教員の人材育成を目的に教員研修に関する連携協定を結んでいます。現在、日野市立小・中学校の教員2名が軽井沢風越学園に派遣され、学校づくりについて日々学んでいます。

軽井沢風越学園視察研修



視察研修に訪れた教員たちは、異学年の学び合いや豊かな自然環境等を生かしたプロジェクト活動を参観した後、「どんな学校をつくりたいか?」をテーマに、意見交流をしました。

「異学年の学び合い」「教えるだけが教師の役割ではない」等の学びを日野市の各学校に持ち帰りました。

軽井沢風越学園での学びを生かしています

「未来に向けた学びと育ちのわくわくプロジェクト」は、軽井沢風越学園に派遣されている教員と日野市立学校の教員が参加しています。派遣教員が在籍している日野第四小学校では、軽井沢風越学園での学びを生かし、子供たちが自分で自分の学びを作る「マイ・プランスクール」の実現に向けて、研究を進めています。



学校創立から〇〇周年!

日野市立小・中学校では、学校創立から10年ごとの節目に記念行事を実施しております。

コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に周年行事を実施することができなかった3校を含む、計5校の小・中学校において、感染症対策を十分施した上で、周年行事が執り行われました。

日野第三小学校 70周年記念式典
(令和3年11月6日実施)

滝合小学校 50周年記念式典
(令和3年10月30日実施)

日野第三中学校 50周年記念式典
(令和3年10月16日実施)

大坂上中学校 40周年記念式典
(令和3年11月20日実施)

平山中学校 40周年記念式典
(令和3年10月23日実施)

SDGsを通して社会を見る(日野第六小学校)



令和元年度(2019年)、日野市は東京都で初めて「SDGs未来都市」に指定されました。六小では、日野市の「SDGs未来都市」、および日野市教育ビジョン「未来に向けた学びと育ちの基本構想」に込められた願いや思いを受け、児童一人一人に配布されたタブレットPCを活用して学習を進めています。

2年生は『自分が取り組める防災』、4年生は『SDGsに17の目標が設定された背景・目的』について調べました。そして5年生は昨年結成した「六小SDGs隊」として、自分の生活と環境問題を結び付けた学習を行いました。

6年生はSDGsにかかわる問題について、「調べたこと」や「考えたこと」をまとめ、全校児童に対して発表しました。さらに、実践女子大学の公開講座でも発表させていただきました。3月には「SDGsの視点から日本と北極域の関係を考える」講演を聞くことができました。

SDGsに示された17の目標の中から、1つの目標を選んで意識することで、「住みよい街づくり」や「パートナーシップ」、「多様性」といった16の目標にも視野を広げることができます。こうして子供たちは自分を取り巻く外側、いわゆる「社会」を見たり感じたりする力をはぐくんでいきます。

日野第六小学校の学びは、「SDGs」をきっかけとして、自分が一番心を揺さぶられる目標について追究したり、他の目標に関心を広げたりする「SDGsを通して社会を見る」学習や活動に広がっていきます。



ひのっ子がんばってます

日野第八小学校

日野市民大会「空手道」競技で準優勝！

日野第八小学校の5年生、村野 仁乃香さんは日野市民大会の空手道競技で「形」「組手」共に準優勝の成績を収めました。「久しぶりの試合で緊張しましたが、決勝まで行けてよかったです。決勝では新しい「形」を使うこともできました。来年には、大きな大会もあるのでこれからも頑張ります。」という感想を伝えてくれました。

東京2020でも盛り上がった「空手道」。日野市でもたくさんの道場があり、ますます盛んになります。



仲田小学校

日野市ごみ減量啓発ポスター最優秀賞！

社会科のごみの学習について学んだ横瀬莉奈さんは、ごみによる環境破壊が生き物たちへどのような影響を与えるかに关心をもち、未来の地球をより素敵にしたいという願いを込めて、『ポイ捨ては地球をきずつける』と呼びかけるポスターを描き、見事『最優秀賞』に選ばれました。



4年 横瀬 莉奈

日野第二中学校

パラアスリートと触れ合えた貴重な経験

12月7日(火)にパラオリンピアンの山崎晃裕さん(東京パラ陸上T46やり投げ第7位)と鹿沼由理恵さん(リオパラ自転車競技銀メダル、バンクーバーパラクロスカントリースキー第7位)をお招きし、講演会と授業のご指導をいただきました。力強く前向きに夢に向かうお二人の姿を通して、生徒たちの障害者理解、パラアスリートへの理解を深める貴重な機会となりました。

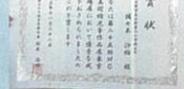


日野第六小学校

東京都MOA議員連盟会長賞・日野市長賞をいただきました！



佐々木沙絵さんは、第31回MOA美術館全国児童作品展に作品名「水の町」で応募し、東京都MOA議員連盟会長賞・日野市長賞を受賞しました。



小さいころから、絵を描くのが大好きだった沙絵さん、夏休みコンクール一覧から「MOA美術館全国児童作品展」に挑戦することを決めて制作に入りました。「水の町」については、動植物にとって、水は生きていいくうえでなくてはならないもの、いつまでも水のきれいな町、地球であってほしいとの願いを作品に込めました。

七生緑小学校

8回連続全国コンクール金賞

11月7日(日)、「NHK全国学校音楽コンクール 全国コンクール(小学校の部)」において七生緑小学校合唱団は8回連続で金賞(日本一)を受賞することができます。コロナ禍の中、歌うことができない期間や感染予防対策をしながらの練習を乗り越えての受賞です。応援する仲間のメッセージもあっての栄誉です。歌の楽しさをこれからも追求していきます。



夢が丘小学校

東京都教育委員会賞受賞！

6年生の遠藤のあさんは、夏休みの自由研究で取り組んだ『よく飛ぶ紙飛行機はどんなカタチ?』が日野市の代表に選出され、東京都小学生科学展において東京都教育委員会賞を受賞しました。「実験を重ねていく中で、様々な結果が得られて、たくさんの不思議と出会いました。これが、この研究の醍醐味でした。受賞することができてうれしかったです。家族や先生方に感謝しています。」と話してくれました。



6年 遠藤 のあ

三沢中学校

挑戦

野球部は、10月9日に行われた第7ブロック日南地区秋季大会決勝で勝利し優勝。シード校として迎えた都大会では、明大明治中に2-1で勝利。3回戦の対水元中戦は投手戦となり、中盤に甘く入った球をとられ0-2で負けましたが、東京都ベスト16進出を果しました。選手権大会では、さらなる活躍が期待されます。



障害のあるなしにかかわらず誰にとってもやさしいまちへ

福祉教育を通して障害について知り、考えることは、一人一人がかけがえのない存在としてそれぞれの違いを大切にし、お互いを認め合うことにつながります。日野市では障害のあるなしにかかわらず、誰にとってもやさしいまちを目指し、福祉教育が行われています。

問 県障害福祉課(☎042-514-8991)

学校での福祉教育

～福祉教育を通じてお互いを認め合い、一人一人の多様性や違いを大事にする心を育てよう～

小中学校で行っている社会福祉協議会等と連携した福祉教育では、今回紹介する手話や点字だけでなく、アイマスク体験や車いす体験など、子どもたちがより主体的に考えられるような取り組みを行っています。また、福祉教育は手話や点字等のコミュニケーションの技術習得を目的としているものではなく、この福祉教育を通じて、子どもたち自身が互いの人格や個性を尊重し、認め合うとともに、障害について考えるきっかけとしてもらうことを目的としています。

手話講座

耳の聞こえない方の日常のお話を聞いたあと、みんなで手話を簡単な挨拶をしてみます。

見た目では耳が聞こえないことがわかりにくいため、困っていても周りの人に気づいてもらえないことがあります。そのため、必要な情報を得ることができない場合があります。そのような方々にとって手話はとても大切なコミュニケーション方法です。

手話があれば、なんでも話せるんだね。これからもたくさん手話を覚えて、楽しく会話したい!



実際のお話を聞いて、今の自分にできることはなんだらうと思いました。相手の立場に立って考えることって大切なんだね。

先生よりひとこと



講座後他の手話を調べたり家族に手話を伝えたりという様子が見受けられました。手話に興味を持つことで、多様性への理解を深め、誰もがよりよく生きるために何ができるかを進んで考えられる大人になってほしいと思っています。

見て、知ってください！私たちの日常 ～七小と豊田小で障害のある方の作品を展示～

令和3年11月中旬に実施された七小芸術祭及び豊田小学校展覧会に、障害のある方々や障害福祉事業所が創作した作品を出展しました。絵画や刺しゅう、編み物、土鉢、陶芸作品など、とてもカラフルで個性豊かな素敵なお品ばかりで、好評を博しました。

今回作品をご覧いただいた皆様に作品に興味を持っていただくことで、障害とは何か考えていただき、障害や障害のある方々への理解につなげていただけたら幸いです。



どの作品もきれいですごい！ほかの作品も見てみたいな



どうやって作っているんだろう？一緒に作ってみたい！



点字講座

自分の名前や好きなもの、将来の夢などを点字を書く器具を使って書く体験を行います。書いたものを目が見えない方に読んでもらおうと行列ができました。

点字は縦3点、横2点の6つの点の組み合わせからなる表音文字で、目が見えない方、見えにくい方が読書をする際や、学習、コミュニケーションなど様々な場面で用いられています。

点字を打つのは難しいけど、読んでもらえると気持ちが伝わるから嬉しいね。もっと点字について知りたいな。



先生よりひとこと



実際に点字を書く体験をしたことでの目の見えない方がまちなかで困らず安心して過ごすためにはどうすればいいかなどを考えたり、日常の中で点字や点字ブロックといった身近なところにある工夫など様々なことに気づくことができるようになりました。

お話を聞いて、目が見えない大変さがわかったよ。身近なところで困っている人がいたら声をかけたり助けたりしようと思います！

質問コーナー

障害のある方に小学4年生からの質問に答えていただきました

Q.どうやって点字を覚えましたか

A.盲学校の幼稚部や小学1年生から教えてもらって覚えました。みんなが小学校でひらがなや漢字を覚えることと同じだと思います。

Q.目が見えなくて大変なことはなんですか

A.目が見えないと何もできないと思われることが困ります。

Q.耳が聞こえない方がレストランで注文するときはどうしていますか

A.メニューを指さしたり筆談対応を使っています。

Q.車いすの操作はどのくらい難しいですか

A.自転車と同じで毎日練習することで自由自在に操れるようになりました。

Q.外出するときに不安なことがありますか

A.たくさんあります。ですが実際に行ってみて大丈夫だと思えるところには不安はありません。自分であらかじめ確認しなくても安心して行ける場所が増えると嬉しいです。

シリーズ「教育委員会」ってなあに???

教育委員会事務局の紹介(生涯学習課)

生涯学習の主人公は あなたです ~学びの応援隊 生涯学習課~

このコーナーでは教育委員会について、どういうものなのかご紹介しています。教育委員会事務局には、庶務課、学校課、ICT活用教育推進室、生涯学習課などがあります。今回はその中の「生涯学習課」について、取り上げます。

教育委員会には、学校教育部門と生涯学習部門があります。生涯学習課は、子どもから大人まで、長い人生における「豊かに生きる」を様々な学習活動で支えています。私たち生涯学習部門には、生涯学習課と、公民館や図書館、郷土資料館そしてふるさと文化財課などの社会教育を担う施設があります。日野に暮らすすべての人たちが、自分にあった学びの機会を見つけ、新たな人に出会い、いつまでも輝ける人生を送れるよう、そのための「学び」「学び合い」について考え、生涯にわたる学びを支援する仕事をしています。

- ・日野まなびあいプランの推進
- ・小・中学校スポーツ開放
- ・地域学校協働活動推進事業
- ・家庭教育学級
- ・成人式
- ・障害者訪問学級など





日野まなびあいプランについてお知らせします。 「やりたいことがここにある」を、いつしょにカタチにしていきましょう

日野市では生涯学習推進基本構想・基本計画「日野まなびあいプラン」を策定し、計画の推進を図っています。現在、改訂作業を行っており、4月になると新たなプランができあがります。計画の中には、子どもから大人、それぞれのライフステージにおける「学びのつぶやき」を集め、ストーリー風にまとめました。

いつもの生活の中で、ふと…

このことを、
もう少し詳しく知りたいな！

自分がやりたいことについて、
いつしょに話ができる
仲間がいると楽しい。

子育てと仕事のことでの、
いつも気持ちがいっぱい！
でも、何かやってみたい。

自分にとって、「やりたいこと」って何ですか？やってみたかったこと、憧れていたこと、無理とあきらめてしまっていたことなどありませんか。

自らの思いを形にする。同じ思いを持った人たちに会って、つながりをつくって、自らを高めていくことで、「やりたいこと」とがここにある」にたどり着きます。

改訂後の「日野まなびあいプラン」は、リーフレット型のものとなります。ぜひ、手に取ってご活用ください。

そして、一歩！新しい学び、自分の目指すところに近づいてください。そんな気持ちに、きっとなります。



●●● 新しいプランが出来上がるまで、もう少し、おまちください。 ●●●

問 生涯学習課 (042-514-8765)

図書館

中学生と作家の交流事業 2021

「探ってみよう！絵の魅力 !!～佐竹美保さん講演会～」を開催しました

11月7日、魔女の宅急便シリーズ(3巻以降)の挿絵などで知られる画家・佐竹美保さんの講演会を多摩平の森ふれあい館にて開催しました。

この講演会は市内各中学校から集まった代表生徒18名により企画され、当日の司会進行も中学生が行いました。

◆佐竹美保さんによる講演／中学生企画コーナー

佐竹さんの講演では、挿絵・表紙に込めた思いや、学生時代に自作の冊子を手売りした経験、画家を目指す大きなきっかけとなった本についてなど、たくさんのお話をいただきました。

中学生企画のコーナーでは、中学生から佐竹さんへ質問したり、中学生が描いた絵のテーマを当てるミニゲームを行い、アンケートでも「面白い」、「楽しめた」と好評でした。



◆中学生との交流会

講演会終了後、佐竹さんを囲んで交流会を行いました。佐竹さんにもご参加いただいた絵したりとりは大いに盛り上がり、その後も和やかな雰囲気のなか、あつという間の1時間となりました。

◆今回の企画について

参加した生徒からは、「本の裏話など聞いていて面白かった」「一緒に作り上げた企画も成功してとてもうれしかった」等の感想がありました。昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響があるなかでの開催となりましたが、代表生徒の皆さんは積極的にアイデアを出し合い、素晴らしい講演会を作り上げてくれました。ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました！



問 中央図書館 (042-586-0584)

第15回ひのっ子シェフコンテストが開催されました

「自分で考えたメニューが給食になるかもしれないよ！」をキャッチフレーズに、ひのっ子シェフコンテストにたくさんの応募がありました。

11月28日(日)に一次選考を通過した5組の児童が、自分たちで考えたレシピの内容をプレゼンテーションしました。会場に来られない方たちのためにオンライン配信も行いました。

シェフコンのレシピが給食のメニューになるのが楽しみですね！

問 中央公民館 (042-581-7580)

参加児童との集合写真



心があたたまる、
ほうとう風にこみうどん
(渡辺さん 平山小学校)



食わずぎらいはやめようね。
味そのご飯いため
(犬飼さん 豊田小学校)



☆たくあんとはくさいの
ダブル食感サラダ☆
(小松さん 第四小学校)



多摩川梨と
たるトマトの肉じゃが
(伊藤さん・小島さん 旭が丘小学校)



うまい!! まんまる
りんごぎょうざ
(山口さん・阿座上さん 夢が丘小学校)